

令和2年度学校図書ボランティア懇談会 記録

日 時 令和2年10月9日(金) 10時～11時30分
場 所 有明総合文化会館 2階 多目的ホール1

1. 社会教育課あいさつ

2. 出席者紹介

3. 第三次島原市子ども読書活動推進計画について

社会教育課から、策定の経緯と基本方針について説明。

4. 懇談

事前のアンケートをもとに意見交換を実施した。主な意見は下記のとおり。

①活動メンバーの募集について

- ・学習発表会で声掛けをしている。
- ・プリントをただ配るだけでは読んでくれない。プリントを手渡ししたり、クラス会の後の懇談会まで残る人は意欲のある人が多いので、そのような人に直接声掛けしたりしている。興味を持ってくれた人には、活動日に見学に来てもらって、活動を実際に見てもらっている。
- ・新入学説明会で募集の説明をしている。保護者が学校から説明を受けている間に、子どもたちを預かって、読み聞かせや手遊びなど行っている。子どもたちが、読み聞かせが楽しかったことを親に話すことで、親が図書ボランティアに興味を持ってくれる。
- ・親入学説明会で読み聞かせを行う。1時間半も行う。
- ・メンバーは毎年の登録制にしている。今年は忙しいけど、次の年はボランティアができるなど、人それぞれ状況が違うので、参加しやすいように、1年更新にしている。

②読み聞かせについて

- ・図書ボランティアで、読み聞かせ、環境整備を行っているが、7月上旬から読み聞かせがスタートした。密にならないように、子どもたちは自分の席に座ったままで、大型絵本や見やすい本を選んで読み聞かせたり、書画カメラを使ったりと工夫をした。
- ・昨年度からボランティアの研修会を行っている。学校司書が選書や本の持ち方などを教えてくれる。今年の研修会では、コロナをどうするかについて話し合った。
- ・1学期から読み聞かせを行っている。子どもたちは自分の席に座って聞いていて、中学生なので、大きな本は特に使っていない。
- ・今年からリモートで読み聞かせを行うことになった。これは、学校のボランティアに対す

る配慮という面もある。一方で、子どもたちに直接話したい気持ちもある。リモートの方法については、書画カメラなど色々検討したが、本をPDFにして画面に映すことにした。撮影の場所は、図書室ではなく、設備が整っていて、すでに実績のある会議室で行うことになった。

- ・リモートも検討したが、やはり対面がいいということになって、10月から読み聞かせを行うことになった。保健室登校の子どもや特別支援教室も含め、教室を回って、すべての子どもたちにみんなで読み聞かせを行う。

- ・読み聞かせ時のマスクについては、透明のものだったり、普通のマスクだったり、いろいろ。マスクをつけた状態で、声が聞こえるかどうか不安だったので、先生に教室の後ろで読み聞かせを聞いてもらい、あとで聞こえたかどうか先生に感想を聞いた。

- ・今までは2クラス合同で読み聞かせを行っていたが、今年は1クラスずつ行っている。読み聞かせをしながら、聞こえているかどうか不安に思っていた。先生に聞いてもらって、感想を聞くのはいいと思う。

- ・ここ数年、ボランティアの人数が減って、なかなか読み聞かせができないでいる。

- ・学校次第でコロナへの反応は違う。自分たちは1学期から読み聞かせをしている。

- ・週一で環境整備を続けている。活動で密になることもないので、大丈夫だろうということ。

③研修会について

- ・特に学校で研修会はしていない。しかし、初めて図書ボランティアに入った人には、過去の研修資料を配っている。

5. 活動へのアドバイス

- ・今回は、懇談会で、好きなことを話せる場。とてもよかった。

- ・親入学説明会時の読み聞かせは、とてもいいと思う。基本は対面であるが、コロナという状況があり、リモートなど、それぞれで工夫が行われている。

- ・第一次の子ども読書活動推進計画の策定から、本日まで、読書の意識が変わってきているように感じる。第三次計画には、図書ボランティアという言葉が、たくさん出てくる。図書ボランティアが、活動の一翼を担っている。自信をもって活動してほしい。

- ・公民館、図書館での読み聞かせは、子どもを集めることができる。参加したい子どもが参加する。公民館や図書館と学校は違う。学校にはルールがある。そのルールの中でやるという縛りがある。できるときにできることを楽しくやるのが、ボランティアの基本だが、学校からダメと言われたら、やりたくてもできない。やりたいと思ったら、司書や学校としっかり話をしなければならない。連携をとることが大切。話をしていかないと、不満がたまり、うまくいかない。

- ・はじめてボランティアをする人は困っている。どのように本をもてばいいか、教室のどこ

で話をすればいいか、わからない。はじめての人がボランティアになったら、基本的なことを教えてほしい。また、学校に行くことには、ルールがあり、守秘義務があることをしっかり伝える必要がある。

6. お役立ち情報

- ・図書館から、大型絵本および大型紙芝居の貸出について説明。
- ・社会教育課から、県の「地域で学ぶ読書活動支援事業」について説明。
- ・社会教育課から、ボランティア活動の参考となる資料について紹介。

7. 閉会